

第85期

中間報告書

(平成29年4月1日から)
(平成29年9月30日まで)



中日本興業株式会社

平成29年12月

株主の皆様へ

中日本興業株式会社

代表取締役社長 服部 徹

平素は格別のご高配を賜り、厚くお礼申しあげます。

さて、当社は第85期第2四半期累計期間（平成29年4月1日から平成29年9月30日まで）の事業活動を終了いたしましたので、業績ならびに事業の概況につきましてご報告申しあげます。

株主の皆様におかれましては、今後も一層のご支援、ご鞭撻を賜りますようお願い申しあげます。

目 次

事業の概況	2
四半期貸借対照表	5
四半期損益計算書	6
会社の状況	7
「株主ご優待券」について	10
株主メモ／株式等に関するマイナンバーお届出のご案内	

事業の概況

当第2四半期累計期間のわが国経済は、政府・日銀による政策の効果により景気の企業収益や雇用情勢は改善し、景気は緩やかな回復基調で推移いたしました。しかしながら、海外経済の不確実性や金融資本市場の変動の影響が懸念される状況で推移いたしました。

このような状況のもと当社では、お客様目線に立った一層のサービスの充実を図り、なおかつスピード感をもって、お客様の感動の創造に努めてまいりました。

この結果、当第2四半期累計期間の売上高は20億86百万円（前年同期比2.7%増）、営業利益は1億41百万円（前年同期比45.3%増）、経常利益は1億42百万円（前年同期比67.2%増）、四半期純利益は95百万円（前年同期比23.9%減）となりました。

なお、当社の中間配当金につきましては、11月13日の取締役会におきまして、1株あたり30円とし、支払い開始日を12月4日と決定いたしております。

以下、事業別の概況をご報告申し上げます。

【シネマ事業】

映画業界では、春の興行が好調を維持し、夏の興行も邦画、洋画ともに優良な作品に恵まれ順調に稼働するなど、全国の興行収入は昨年同時期を上回る水準でした。

このような状況のなか当事業では、7月に「ミッドランドスクエア シネマ2」がオープン1周年を迎え、名古屋駅前という立地条件を活かし、かつスクリーン数のメリットを活かした番組編成に注力してまいりました。

6月には、フィルム映写機をあらためて設置し、映画の歴史、映画の良さを皆様にお伝えすべく、良質な作品を提供いたしました。

さらに、上質なアート作品をお届けする「アートレーベル」、特別なアニメ作品をお届けする「アニメレーベル」という2つのレーベルにて、熱心な映画ファンのための、こだわりのある作品を提供してまいりました。他に映画以外のコンテンツであるODSでは、「シネマ歌舞伎」、ライブビューイング、人気アイドルによるライブイベント等、様々なジャンルのエンターテインメント作品などご案内し、お客様の期待に応える多彩な作品をお届けしてまいりました。

また、9月には「あいち国際女性映画祭 2017」に参加し、「ミッドランドスクエア シネマ」をサテライト会場とするなど、映画文化の向上にも努めてまいりました。

主な上映作品としましては、邦画では、6月公開の「昼顔」、「22年目の告白～私が犯人です～」、7月公開の「銀魂」、「君の膵臓をたべたい」、8月公開の「関ヶ原」、洋画では、4月公開の「美女と野獣」、「ワイルド・スピード ICE BREAK」、7月公開の「パイレーツ・オブ・カリビアン 最後の海賊」、「ザ・マミー 呪われた砂漠の王女」、8月公開の「スパイダーマン ホームカミング」、アニメでは、4月公開の「名探偵コナン から紅の恋歌」、7月公開の「メアリと魔女の花」、「劇場版ポケ

ットモンスター キミにきめた!」、 「ノーゲーム・ノーライフ ゼロ」、 「怪盗グルーのミニオン大脱走」、 ODSでは、「IDOL M@STER」のライブ、「METライブビューイング」などの番組を編成いたしました。さらに、4月からは、特に素晴らしい旧作の娯楽作品を1年間に渡り連続上映する「午前十時の映画祭8」を従来の「ミッドランドシネマ 名古屋空港」に加え、「ミッドランドスクエア シネマ」においても上映を開始いたしました。

また、9月にはラップドガレット&クレープの専門店である「LA BOBINE ガレットカフェ」がオープン1周年を迎えることができました。映画館に持ち込んでいただいたり、上映後にご利用いただける店舗として、食と空間を楽しむためのカジュアルでありながら上質な店舗をご提供させていただいております。店舗では、映画館とのコラボレーションで、映画監督とのトークイベントも開催いたしました。

この結果、当事業では、売上高は17億45百万円、営業利益は1億26百万円となりました。

【リラクゼーション事業】

飲食部門の名古屋市千種区の「覚王山カフェJi. Coo.」では、地域密着型の運営を継続し、メニュー開発をはじめ、独自のイベントの実施やサービスの充実を図り、お客様に満足いただける店舗創りに努めてまいりました。

温浴部門の名古屋市千種区「太平温泉 天風の湯」につきましても、積極的な店舗イベントの実施やサービスの提供で、売上向上に努めてまいりました。

この結果、当事業では、売上高は1億77百万円、営業損失は4百万円となりました。

【アド事業】

当事業は、積極的な営業展開を図り、得意分野の映画宣伝関連やサイン工事をさらに伸ばし、売り上げの安定化と上積みを目指してまいりました。

この結果、当事業では、売上高は1億63百万円、営業利益は20百万円となりました。

今後の見通し

今後のわが国経済は、引き続き景気回復基調が期待されるものの、不安定な国際情勢、世界経済の減速懸念などの不安要素もあり、先行き不透明な状況は依然として続くものと思われまます。

このような状況のもと当社では、引き続き一層のサービスの充実を図り、お客様の感動の創造に努めてまいります。

シネマ事業では、ますます発展を遂げる名古屋駅前を中心に、今まで以上に作品・素材の調査研究を重ね、あらゆるジャンルの作品をご提供するよう番組編成に注力してまいります。

主な上映作品としましては、邦画では、12月公開の「鋼の錬金術師」、「DESTINY 鎌倉物語」、1月公開の「祈りの幕が下りる時」、3月公開の「北の桜守」、「曇天に笑う」、洋画では、11月公開の「ジャスティス・リーグ」、12月公開の「オリエント急行殺人事件」、「スター・ウォーズ 最後のジェダイ」、2月公開の「グレイテスト・ショーマン」、アニメでは、11月公開の「GODZILLA-怪獣惑星-」、「機動戦士ガンダム サンダーボルト BANDIT FLOWER」、12月公開の「妖怪ウォッチ シャドウサイド 鬼王の復活」、1月公開の「宇宙戦艦ヤマト2202 第四章『天命篇』」、3月公開の「映画 ドラえもん のび太の宝島」、ODSでは、「シネマ歌舞伎」や「METライブビューイング」など、幅広いジャンルの良質な作品を予定しております。

また、10月より「ミッドランドスクエア シネマ オープン10周年特別企画」として、35mmフィルムにて「男はつらいよ 復活上映会」を3月まで毎月1週間ずつ上映してまいります。

リラクゼーション事業では、独自のイベントの実施やサービスの充実を図り、ゆったりとおくつろぎいただける空間を創造し、満足いただける店舗創りに努めてまいります。

なお、「太平温泉 天風の湯」は、本年12月10日に閉店いたしますが、その閉店の日までサービスの充実を心掛け、営業してまいります。

アド事業では、得意分野の映画宣伝関連を軸として、発展が著しい名古屋駅前の積極的な営業展開で販路拡大を図り、サイン工事を中心に、売り上げ向上を目指してまいります。

サービス業を営んでいる当社は、より良い商品を提供すること、そして、より良いサービスを提供するための人材育成に注力し、お客様に選ばれる施設となるよう、一層の精進をしております。

株主の皆様におかれましては、今後とも一層のご支援、ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

四半期貸借対照表

(平成29年9月30日現在)

(単位：千円)

科 目	金 額	科 目	金 額
資 産 の 部		負 債 の 部	
流 動 資 産	<u>2,059,680</u>	流 動 負 債	<u>933,273</u>
現金及び預金	1,037,550	買掛金	414,687
売掛金	166,885	1年内返済予定の長期借入金	85,460
有価証券	600,000	リース債務	87,307
商品	9,073	未払法人税等	51,816
前払費用	32,888	未払費用	55,280
預け金	38,992	賞与引当金	15,400
繰延税金資産	13,459	その他	223,321
その他	161,991		
貸倒引当金	△1,161		
固 定 資 産	<u>3,220,072</u>	固 定 負 債	<u>535,188</u>
有 形 固 定 資 産	<u>(2,046,409)</u>	リース債務	174,782
建物	1,145,740	退職給付引当金	53,951
構築物	3,799	長期未払金	35,400
機械装置及び運搬具	158,900	資産除去債務	96,167
器具備品	103,072	受入保証金	174,888
土地	634,896		
無 形 固 定 資 産	<u>(79,377)</u>	負 債 合 計	<u>1,468,462</u>
電話加入権	1,147		
ソフトウェア	77,841	純 資 産 の 部	
その他	389	株 主 資 本	<u>3,598,673</u>
投資その他の資産	<u>(1,094,285)</u>	資本金	(270,000)
投資有価証券	392,375	資本剰余金	(13)
関係会社株式	10,000	資本準備金	13
差入保証金	641,487	利益剰余金	(3,397,670)
長期前払費用	7,051	利益準備金	67,500
繰延税金資産	43,370	その他利益剰余金	3,330,170
		配当準備積立金	298,185
		別途積立金	2,380,000
		繰越利益剰余金	651,985
		自 己 株 式	<u>(△69,011)</u>
		評価・換算差額等	212,617
		その他有価証券評価差額金	(212,617)
		純 資 産 合 計	<u>3,811,290</u>
資 産 合 計	<u>5,279,752</u>	負 債 純 資 産 合 計	<u>5,279,752</u>

(注) 記載金額は、千円未満の端数を切り捨てて表示しております。

四半期損益計算書

(平成29年4月1日から
平成29年9月30日まで)

(単位：千円)

科 目	金	額
売 上 高		2,086,571
売 上 原 価		1,084,682
売 上 総 利 益		1,001,889
販 売 費 及 び 一 般 管 理 費		859,991
営 業 利 益		141,898
営 業 外 収 益		
受 取 利 息 及 び 配 当 金	3,135	
貸 倒 引 当 金 戻 入 益	544	
雑 収 入	1,025	4,705
営 業 外 費 用		
支 払 利 息	104	
雑 損 失	3,606	3,710
経 常 利 益		142,892
特 別 利 益		
資 産 除 去 債 務 戻 入 益		1,353
特 別 損 失		
固 定 資 産 除 却 損	4,463	
リ ー ス 解 約 損	381	4,844
税 引 前 四 半 期 純 利 益		139,401
法 人 税 等		44,031
四 半 期 純 利 益		95,369

(注) 記載金額は、千円未満の端数を切り捨てて表示しております。

会 社 の 状 況

■ 会社概要 (平成29年9月30日現在)

商 号	中日本興業株式会社	Nakanihon KOGYO. CO. Ltd.
本 社	名古屋市中村区名駅四丁目5番28号	
設 立	昭和29年7月23日	
資 本 金	2億7,000万円	
従業員数	57名	

■ 主要な事業所 (平成29年9月30日現在)

<映画館>

ミッドランドスクエア シネマ	(14)	名古屋市中村区
ミッドランドシネマ 名古屋空港	(12)	愛知県西春日井郡豊山町

<飲食店>

覚王山カフェ Ji. Coo.	名古屋市千種区
LA BOBINE ガレットカフェ	名古屋市中村区

<温浴施設>

太平温泉 天風の湯	名古屋市中川区
-----------	---------

<展示装飾および看板の製作、広告代理店>

中日本エージェンシー	名古屋市中村区
------------	---------

- (注) 1. () 内の数は、スクリーン数です。
2. 「ミッドランドスクエア シネマ」、および「LA BOBINE ガレットカフェ」は、当社と株式会社松竹マルチプレックスシアターズ(東京都中央区)との共同事業体が運営しております。
3. 「太平温泉 天風の湯」は、平成29年12月10日をもって閉店いたします。

■ 役員（平成29年9月30日現在）

代表取締役社長 服部 徹 経営企画部担当

常務取締役 原田 克己 感動創造本部本部長
企画営業部担当

取締役 貴田 吉晴 感動創造支援本部本部長
総務部部长 経営企画部 上席部長
食文化創造室担当

取締役 小塚 康 感動創造本部 副本部長
興行部 上席部長

取締役 山口 千秋（社外取締役）

取締役 大谷 信義（社外取締役）

常勤監査役 佐藤 桂一

監査役 岡本 安史（社外監査役）

監査役 野田 敦之（社外監査役）

執行役員 細川 秀樹 感動創造支援本部 副本部長
経理部部长 経営企画部 部長
太平洋温泉 天風の湯担当

ホームページのご案内

当社のホームページにて、事業内容、サービス案内、決算情報等に関する詳しい情報がご覧いただけます。

<http://www.nakanihonkogyo.co.jp/>

中日本興業 検索

■ 株式の状況（平成29年9月30日現在）

発行可能株式総数	2,000,000株
発行済株式の総数	530,910株（自己株式9,090株を除く）
株主数	2,841名（前期末比12名増）

■ 大株主（平成29年9月30日現在）

株 主 名	持 株 数	持株比率
東 和 不 動 産 株 式 会 社	40,000株	7.53%
ト ヨ タ 自 動 車 株 式 会 社	30,000株	5.65%
松 竹 株 式 会 社	20,000株	3.76%
岡 本 藤 太	6,000株	1.13%
株 式 会 社 三 菱 東 京 U F J 銀 行	5,400株	1.01%
服 部 徹	5,200株	0.97%
服 部 清 純	4,500株	0.84%
廣 野 純 弘	4,392株	0.82%
濱 谷 亘 匠	4,300株	0.80%
服 部 信 光	3,000株	0.56%

（注）持株比率は自己株式(9,090株)を控除して計算しております。

■ 所有者別株式分布状況（平成29年9月30日現在）

所 有 者	株 式 数	比 率
金 融 機 関	5,500株	1.02%
金 融 商 品 取 引 業 者	58株	0.01%
そ の 他 の 法 人	102,200株	18.93%
外 国 法 人 等	0株	0.00%
個 人 ・ そ の 他	423,152株	78.36%
自 己 名 義 株 式	9,090株	1.68%
計	540,000株	100.00%

「株主ご優待券」について

当社の株式1単元（100株）以上を期末（3月末日）および中間期末（9月末）に保有している株主の皆様に対し、次の要領で「株主ご優待券」を発行いたします。

3月末現在の株主の皆様は、8月、9月、10月、三ヶ月間の中でご利用いただける「株主ご優待券」および11月、12月、翌年1月、三ヶ月間の中でご利用いただける「株主ご優待券」を発行し、6月の定時株主総会終了後、決議ご通知に同封のうえ株主の皆様にご送付いたします。

9月末現在の株主の皆様は、2月、3月、4月、三ヶ月間の中でご利用いただける「株主ご優待券」および5月、6月、7月、三ヶ月間の中でご利用いただける「株主ご優待券」を発行し、12月初旬に中間報告書に同封のうえ株主の皆様にご送付いたします。

発行基準

100株以上	5枚（使用期間三ヶ月）	半期	10枚
200株以上	10枚（使用期間三ヶ月）	半期	20枚
300株以上	15枚（使用期間三ヶ月）	半期	30枚
400株以上	20枚（使用期間三ヶ月）	半期	40枚
500株以上	25枚（使用期間三ヶ月）	半期	50枚
1,000株以上	40枚（使用期間三ヶ月）	半期	80枚
2,000株以上	50枚（使用期間三ヶ月）	半期	100枚
4,000株以上	75枚（使用期間三ヶ月）	半期	150枚

ご利用要領

「株主ご優待券」を下記映画館にてご利用の場合、無料入場券としてご利用できません。（1枚で1名様有効）

映画館		住 所	電話番号
ミッドランドスクエア シネマ	1～7番 スクリーン	名古屋市中村区名駅4-7-1 ミッドランドスクエア 商業棟5F	(052)
	8～14番 スクリーン	名古屋市中村区名駅4-11-27 シンフォニー豊田ビル2F	527-8808
ミッドランドシネマ 名古屋空港		愛知県西春日井郡豊山町豊場林先1-8-501 エアポートウォーク名古屋内	(0568) 39-3911

※プレミアムシートのご利用、ドルビーアトモス作品のご鑑賞、3D映画のご鑑賞の場合には、ご利用にあたり別途料金のご負担が必要となります。詳細は、各劇場にお問い合わせください。

株 主 メ モ

事業年度	4月1日～翌年3月31日
定時株主総会	毎年6月
配当金受領株主確定日	期末配当金3月31日・中間配当金9月30日
株主名簿管理人 特別口座 口座管理機関	三菱UFJ信託銀行株式会社
同 連 絡 先	三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 東京都府中市日鋼町1-1 電話 0120-232-711 (通話料無料) 郵送先 〒137-8081 新東京郵便局私書箱第29号 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部
公告掲載新聞	中部経済新聞
上場取引所	名古屋証券取引所 第二部 (証券コード: 9643)
インターネットアドレス	http://www.nakanihonkogyo.co.jp/

(注) 株主名簿管理人および特別口座の口座管理機関の事務拠点の移転に伴い、平成29年8月14日付けにて上記のとおり変更しております。

単元未満株式の買取、住所変更等、 株式に関するお手続きについて

株式に関するお手続きは、原則、口座を開設されている口座管理機関（証券会社等）で承ることとされておりますので、お取引のある証券会社等にご照会ください。

なお、特別口座に記録された株式に関するお手続きは、上記の三菱UFJ信託銀行で承っております。特別口座の一部お手続き用紙のご請求は、次のお電話およびインターネットにより受け付けておりますので、ご利用ください。

電話 0120-232-711 (通話料無料)

インターネットアドレス <http://www.tr.mufg.jp/daikou/>

株式等に関するマイナンバーお届出のご案内

平成28年1月から、社会保障、税、災害対策の行政手続きにおいてマイナンバーの利用が開始されています。

株式等の税務関係の手続きでもマイナンバーが必要となりますので、株主さまのマイナンバーについては、お取引の証券会社等へお届出ください。

お手続き方法など詳細につきましては、証券会社等へお問合せください。

マイナンバーを 記載する主な支払調書	配当金等に関する支払調書 単元未満株式の買取請求など株式の譲渡取引に関する支払調書
-----------------------	--